ヒューマン支援ネット

2014年 12月1日

Vol. 2

☆☆ 特定非営利活動法人ヒューマン支援ネット設立について(これまでの経過) ☆☆

特定非営利活動法人ヒューマン支援ネットの認証申請までの経過報告

- 1. 2013年6月14日 ヒューマン支援ネット設立
 - ・任意団体としてメンバー11人で設立(初期メンバーは4人)
 - ・一般社団法人にするか、NPO法人にするか、資料を集めて検討開始
- 2. 2013年12月7日 「ヒューマン支援ネット」法人設立準備会開催
 - ・ 賛同者10名で開催
 - ・議事内容:一般社団法人とNPO法人のメリットとデメリット 法人設立時の必要経費(事業計画、収支予算をたてて実行するのが先)
- 3. 2014年5月22日 ヒューマン支援ネット総会で、NPO法人の申請を議決
- 4. 2014年6月~8月
 - ・インターネットでNPO法人設立認証申請に必要な書類を収集
 - ・ 県庁訪問:認証手続き、書類の書き方、法令集などの相談8月末まで申請書類作成
 - ・県庁担当職員とメールのやり取りを5回ぐらい繰り返し、8月末に申請書類完成
- 5. 2014年8月19日 第1回理事会開催 (NPO法人設立総会の開催を議決)
 - ・NPO法人設立認証申請提出書類の承認
 - ・NPO法人設立総会の開催を議決
- 6. 2014年9月7日 NPO法人設立総会開催
 - ・NPO法人設立認証申請提出書類の承認
- 7. 2014年9月29日、県庁へNPO法人設立認証申請書類提出

今後の予定

県庁への届け出から認証まで2~3か月かかります 県庁からNPO法人設立認証書が届いたら、法務局へ登記しNPO法人設立となります

以上

報告者 業務執行理事 吉村佳子

☆☆ 2014年4月~11月 実施事業報告 ☆☆

格差社会と貧困問題 「広がる子どもの貧困」(2014/7/5)

講師:野崎祐子(熊本学園大学経済学部特任教授 経済学博士)

親の所得格差が子供の教育格差をもたらす。経済の視点から統計的にみて非正規雇用の多い女性は男性に比べ賃金が低く、女性の貧困は著しいものがあり支援の必要があるなど、統計資料に基づく説明で参加者も納得する講座となった。

教育格差解消に向けてアメリカのヘッドスタートプログラムを紹介。 高校中退率、犯罪率、失業率の引き下げに効果が出ている。

我が国は子どもへの投資が先進国に比べ極めて低く、私的負担が大きい。 「参加者の感想」

- ・貧困は早期教育から影響を受けている、早期教育の投資効果が高い
- ・思いを声に上げること、形に示すことが大切
- ・親の意識変革(政策誘導)も必要







発達障がい児支援講座 「**発達障がいについて**」(2014/7/26,8/5)

講師: 虻田 洋子(岩国短期大学講師

NPO法人まなびや 相談ルームはるにれ 相談専門員)

発達障がい児(高機能自閉症・アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障がい・学習障害)の特性を、具体的な事例で学んだ。

子どもがどんなに困難さを抱えているかを理解するため、参加者が軍手をはめて折り紙で鶴を折りました。傍で、「早く…」「どうしてできないの」と言われると、焦りや、もう少し待って欲しいという思いが増幅し子どもの気持ちに寄り添い援助することが必要だと学んだ。

講師の「子どもは一生懸命生きています。誰もが人格と個性を尊ばれ暮らしていくためには地域社会が大切です。」は心にとめたい言葉です。

[参加者の感想] 子どもを理解し、地域や社会で協力していきたい

雇用労働者支援講座 「労働法の基礎を知る」(2014/9/20)

講師:川嶋將太(法テラス広島法律事務所 常勤弁護士)

労働法総論、労働契約について、労働契約の終わり、パワハラ、 セクハラ等について、それぞれの法律に基づいて分かりやすい説明で 理解することができた。

また、具体的事例を基にワーク形式で講座を進めていき、働く上で 身近な問題として認識することができる講座となった。

[参加者の感想]

- ・知っているのといないのとでは、対応が違ってくる
- ・大変わかりやすく(提供資料も)職場で役立たせることができる



子ども健全発達支援講座

「親と子どものタッチケア」(2014/10/31)

講師:七木田方美(比治山大学短期大学部 准教授 日本タッチケア研究会 幹事)

「タッチケアとは何か」を、実際に子どもと五感で触れ合って 心身がリラックスすることや関わり方を学んだ。そして母親は 歌にあわせてゆったり優しくマッサージし、語りかけていた。

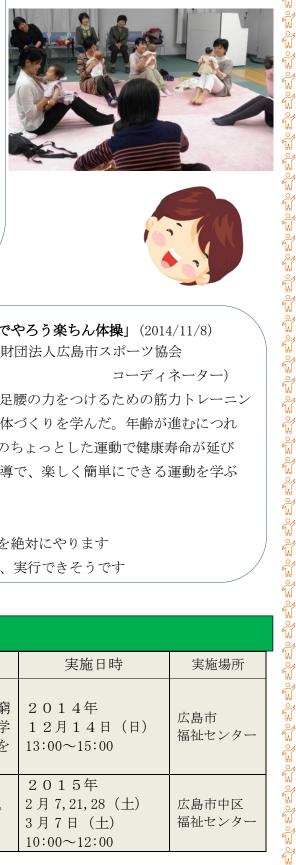
日ごろから、母親が歌いながらマッサージをすることで、 親子で心地よさを体験する。心の健康度調査(SUBI)シートで 自己チェックし、講師による採点・助言を受けた。

参加者は、妊産婦、祖母(これから祖母になる人)は、 実際に赤ちゃんを抱かせてもらい、愛らしさに心が温まる 感情体験をした。

「参加者の感想〕

- ・体験したことを、子育てに活かしたい
- ・母と子の接触(ふれあい)の必要性
- 子どもとふれ合うのがもっと楽しくなる











健康づくり講座 「笑顔でやろう楽ちん体操」(2014/11/8) 講師 舘野美栄子(公益財団法人広島市スポーツ協会 コーディネーター)

体をほぐすストレッチ、足腰の力をつけるための筋力トレーニン グを通して転ばないための体づくりを学んだ。年齢が進むにつれ 筋力は衰えていくが、日頃のちょっとした運動で健康寿命が延び る。講師の分かりやすい指導で、楽しく簡単にできる運動を学ぶ ことが出来た講座でした。

「参加者の感想〕

- ・全身を支える足の体操を絶対にやります
- とても分かりやすくて、実行できそうです

** 2015年1月~3月 開催予定事業 **

事業名	事業内容	実施日時	実施場所
男女共同 参画社会 推進事業	家庭の性教育 生活基盤ができないうちに妊娠出産し、生活困窮 から離婚、子どもの虐待が増えている今日、中学 生になるまでに家庭での性教育がいかに大切かを 学ぶ	2014年 12月14日(日) 13:00~15:00	広島市 福祉センター
福祉に関する事業	メンタルヘルス 家庭や職場でうつ症状を訴える人が増えている。 認知行動療法を中心にその対策を学ぶ	2015年 2月7,21,28(土) 3月7日(土) 10:00~12:00	広島市中区 福祉センター

☆☆ 会員のひろば ☆☆

「可部つちくれの家」の 2014.8.20

社会福祉法人 清流 可部つちくれの家 藤谷

「可部つちくれの家」は、安佐北区三入南に位置し、知的な障害を抱える方が通う作業所です。周囲は田畑に囲まれ、四季を感じられる緑豊かな所です。けれども、8月20日、未曾有の豪雨による土石流が住宅や田畑を飲み込み、辺り一面は泥の世界と化しました。

被災直後、施設に駆けつけた職員によると、施錠した門扉が土砂に埋もれて全く動かなかった。門扉の土砂を撤去する所から、「可部つちくれの家」の復旧作業は始まりました。建物の外周はおよそ20

cmの土砂に覆われ、館内1階部分はほぼ水に浸かっていました。【写真参照】

職員・保護者で復旧作業に取り組み、1週間後の8月27日、どうにか開所にこぎつけました。その間、近隣の方々や関係諸機関より、差し入れやお見舞いなど多くのご支援を頂きました。また、利用者も駆けつけ、一緒に復旧作業



に取り組みました。再開にあたって、地域の繋がりや人の絆の大切さと、普通の生活のありがたさを実感しました。

被災して2ヶ月半が過ぎ、施設ではいつもの生活に戻りつつあります。多くのご支援を頂いた私たちが、恩返しとして出来ることは何か?この度の災害を忘れないよう、手を取り合い皆さんに元気を与えることができるよう頑張っていきたいと思います。



*

トルコ紀行 「魅惑のトルコ旅行」

池田 淑子

このトルコ旅行は3年越しの計画を立て、米子の友人と旅をする予定だった。ところが、友人が緊急手術となり、一人でのツアー参加となった。何かあれば、積極的にコミニュケーションをとりながら、何とかなるさの気持ちで出発した。トルコといえば、東西文明の交差する国、四千年の歴史を誇る国、日本に友好な国、三大食文化の国…楽しみ満載の旅。



トロイの古代遺跡、パムッカレの碧い石灰棚、イスタンブールの宮殿、モスク、カッパドキアの奇岩群等ツアーの見所コースと世界三大料理を十分味わうことができた。特に、カッパドキアでは気球に乗り、朝日を拝み、奇岩群を1時間余り遊覧した。色とりどりの

気球が数え切れないぐらい飛び雄大なパノラマに感動

した。また、洞窟ホテルからも見える、気球群は格別なものでした。

最終日は、トルコ独立記念日で、国民は街中で祝杯ムード!自国を愛するその国民性と行動は、凄い!

編集後記

師走の季節となりました。1年の過ぎ去る速さをしみじみと感じさせられます。原稿を寄せてくださった方、本当にありがとうございました。クリスマス、大掃除、年越しとお正月と、忙しさと楽しみの入り混じった12月、風邪をひかないよう、元気で過ごしましょう。(吉村)



発行元:ヒューマン支援ネット 廿日市市平良二丁目1番1号 電話:050-1365-5981

メール: mgpgc285@ybb.ne.jp